

2020年10月6日



キリスト教センター 通信 Vol.17



激励メッセージリレー

タイトル

『 創立記念日 』

大学チャプレン 河村博之

本学の「創立記念日」は、いつか、ご存じですか？9月29日です。その訳は、もし皆さんが入学案内や学生便覧をお持ちでしたら、シンボルマークの紹介の箇所を読んでみてください。ロゴマークの下に、「ST.MICHAEL'S K.I.U.」と記されています。聖ミカエルという守護天使の名を洗礼名に頂く創立者八代斌助主教と聖ミカエル及び諸天使の日が9月29日に定められているというところから来ています。

これは、皆さんが本学を紹介するときに役に立ちます。覚えていただけたらと思います。

この日、学内では、創立記念礼拝が行われます。元々は、神戸市垂水区にある附属高校と合同で行っていましたが、ここ数年は高校・大学のそれぞれで行うようになりました。この時に覚えるのは、どうして本学が設立されたのかという設立目的です。創立者はキリスト教に基づいた豊かな人間形成と世界に通用する国際人の育成を念頭に1963年、国際都市神戸の垂水区に高校を、そして、卒業した高校生が次のステップとして羽ばたくため、また、社会のニーズにも応えるため、1968年、高校の隣地に大学が設立されたのです。学部は、経済学部経済学科の単科大学でした。皆さんも、経済学を学ばれてお分かりと思いますが、高校時代の科目とは違い、幅と奥行きがあることに気づかされたのではないのでしょうか。1972年に、経済学科の中に、経済・経営・貿易・観光という4つのコース制が導入されました。特に、観光コースは、当時の4年制大学では、立教大学の協力を得て、西日本では唯一のパイオニアであることは、あまり知られていないかもしれません。

この壮大なる創立者の願いが、「神戸国際大学」「神戸国際大学附属高校」という分かりやすい名称に変更されたのは、1992年です。阪神淡路大震災の2年前のことです。そして2002年、現在の六甲アイランドに移転。2009年にリハビリテーション学部が開設され、現在に至ります。

実は私は、本学の第20回卒業生です。観光学を学ぶため、静岡県から来ました。ここで、経済学・観光学の学びとチャペル活動によって生まれ、キリスト教の牧師の道を歩むようになりました。本学の歩みを知ることは、自らの人間形成と社会への貢献にとっても役立ちます。皆さんも、充実した学生生活を送ってください。お祈りしております。

新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り

どうか、皆さんもお時間があるときにお祈りください

神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。

どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまのみ心になつた正しい行動を心がけることができますように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。

このお祈りを、主イエスさまのみ名によっておささげいたします。アーメン

病に苦しむ人のための祈り

慈悲の父、慰めのもとである神よ、現在、新型コロナウイルスに感染し、痛みや苦しみ、不安や悲しみの中にある人のために献げる祈りをお聞きください。

どうか病で困難や不安の中にある人を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病を癒してください。また、医師と看護する者たちを助け導き、その働きを支えてください。

そして、何もできずに不安と悲しみの中で苦しむご家族やご友人、また、私たちの心も神さま、あなたが愛によってお救いください。

主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離れて暮らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。

そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々を過ごすことができますように、どうかあなたがお支えください。

また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息に向かうことができますように。

この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。アーメン

自然災害の被災者のための祈り

天地の造り主である主よ、あなたは苦しみ悩みのうちにある人びとを支えてくださいます。どうか今、全国各地での豪雨や台風などの自然災害によって苦難のうちにある人びとを顧み、ふたたび立ち上がる力をさずけてください。また、わたしたちもこの人びとの悩み苦しみを祈りのうちに覚え、その痛みを少しでも共に担うことができますように。苦しむ人と共に歩んでくださる、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

神戸国際大学
キリスト教センターの
HPリンクはこちらまで

